

2010年9月3日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」

幼児教育学科「学生支援」に引き続き「教育推進」でも採択

中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）幼児教育学科は、文部科学省が本年度に実施する「大学教育・学生支援推進事業」における「大学教育推進プログラム」で、「『“あそびすと”から“あそびスター”へ』五感で感じるあそびの価値を広げる保育者養成プログラム」の取り組みが採択されました。幼児教育学科が採択された大学教育推進プログラムには、全国から298件（大学231件、短期大学34件、高等専門学校33件）の応募があり、書類審査とヒアリングを経て選ばれたのは30件（大学23件、短大4件、高専3件）。全国で実績を挙げている大学などがエントリーする中、狭き門をくぐり抜け、中部地区の短期大学では唯一選ばれました。また、本学が同事業で採択を受けるのは、昨年、「学生支援プログラム」で2件が採択されたのに引き続きの快挙で、3例目となりました。

記

【本学の大学教育・学生支援推進事業の採択】

この事業は「大学教育推進プログラム」「学生支援推進プログラム」などがあり、前者は学士力の確保や教育力向上のための優れた取り組みが対象。後者は就業支援への取り組みが対象です。

本学は昨年度、学生支援推進プログラムにおいて、大学と短期大学部でダブル採択を受けました。大学は「進路決定率100%・進路満足度100%の巣立ち支援体制の確立」（平成23年度まで）に取り組み、就職支援に力を注いでいます。短期大学部は幼児教育学科が「学生シーズと現場ニーズのマッチングによる個別的キャリア支援」（今年度まで）が採択されました。学生が培った保育・幼児教育、児童福祉に関する力量や能力（シーズ）と、保育所・幼稚園・児童福祉施設が求める人材像（ニーズ）を個別にマッチング。両者の満足度向上を図り、早期離職者の防止を目指しています。

【採択されたテーマ】

「“あそびすと” から “あそびスター” へ」

五感で感じるあそびの価値を広げる保育者養成プログラム

■ 取組学部 中部学院大学短期大学部 幼児教育学科（担当者：鈴木恒一 准教授）

■ 取組期間 2010（平成 22）年度～2012（同 24）年度

■ 取組概要 別紙（Paulownia vol.14）参照

■ 経 緯 本学幼児教育学科の流れ

[2009 年] 学生支援推進プログラム

7 月 7 日（火） 学生支援推進プログラム採択（平成 21 年度～22 年度）

[2010 年] 大学教育推進プログラム

4 月 1 2 日（月） 文部科学省より募集告知

4 月 2 3 日（金） 説明会参加（同月 2 7 日も参加）

5 月 6 日（木） 申請受付開始（1 7 日まで）

7 月 2 7 日（火） ヒアリング（書類審査で選抜された大学・短大・高専）

8 月 3 1 日（火） 採択決定公表

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科（担当：鈴木 准教授） TEL:0575-24-2211（代表）